

《技術報告》

上部消化管癌におけるセンチネルリンパ節検索の試み 第一報：ガンマプローブの使用経験

吉村 真奈* 白岩 啓志* 梅田 淳一* 神部 昭子*
小泉 潔* 高木 融** 小柳 泰久** 阿部 公彦*

要旨 センチネルリンパ節 (SN) の検索を目的として、ガンマプローブ NAVIGATOR GPS (Autosuture Japan) の特性について、 ^{99m}Tc 線源を用いて検討した。

カウントの直線性はほぼ良好であり RI 濃度測定は十分可能であるが、有効なカウント数を得るためには、SN と思われるリンパ節に 3.7×10^{-3} MBq (0.1 μCi) 以上の RI が残存していることが望ましいと考えられた。またガンマプローブのカウントは線源に対する角度および距離に大きく影響され変化した。

これらのガンマプローブの特性を操作者が十分理解することが、より良い測定結果を得るために重要であると考えられた。

(核医学 38: 351–354, 2001)